

受講生募集案内

BHELP(BasicHealth Emergency Life Support for Public)とは、
「被災地での活動を効果的・効率的に実践するために災害対応における知識、共通の言語と原則を理解し、被災者の生命と健康の維持、災害発生直後からの被災地内での災害対応能力の向上に資すること」を目的とした日本災害医学会の教育コースです

日 時：2024 年 7 月 27 日（土）9 時 00 分～16 時 30 分

開催方式：web 開催（使用ツール：Zoom®〔<https://zoom.us/>〕）

※通信環境の準備はご自身でお願いいたします

受講対象：被災地域内で発災直後から支援者となり得る医療・保健・福祉に関連する専門職及び、
その受験資格が可能な教育機関の学生、防災業務に従事する行政職員

募集人数：24 名 *定員に達し次第申し込みを終了する場合がございます

受講料：4,000 円 事前振込 *受講採否の連絡時に振込先をご案内します。入金確認後、受講確定となります

コース運営責任者：大垣 昌之（所属：愛仁会本部）

主 催：大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会

助 成：JR 西日本あんしん社会財団

【コース概要】

軸は CSCA**HHH**：**Healthcare Triage**（ヘルスケア・トリアージ）、
Helping Hand（手を差し伸べる）
Handover（つなぐ）

1) 講義

- ・災害医療体制の概要と医療対応の原則
- ・避難所、福祉避難所の概要、体制構築および運営上の留意点
- ・避難所の環境改善に必要な情報収集のためのアセスメントシートの活用
- ・避難所生活により生じやすい健康問題とその予防法
- ・被災地域内外の支援者との連携協力

2) 演習：講義で学習した内容を活用して、以下の演習を行います。

- ・トリアージ・保健福祉的視点によるトリアージ・CSCA を意識した対応
- ・アセスメントシートを活用した避難所の情報収集と評価・避難所のレイアウト

【申込方法】

D-PORT（災害医療イベントポータルサイト）よりお申込みください

[災害医療イベントポータルサイト D-PORT \(mcls.jp\)](https://mcls.jp)



*事前に日本災害医学会のメンバーズサイトへの登録が必要です

メンバーズサイトへの新規登録後にコースの参加申込みを行って下さい

メンバーズサイトへの新規登録のみでは、コース参加申込みとなりませんのでご注意ください

*お申込みの際はパソコン用のメールアドレスでのご登録をお願いいたします（携帯アドレスは不可）

【お問い合わせ】日本災害医学会 BHELP 運営委員会 jadm_bhelp@yahoo.co.jp
主催者、学会事務局では対応しておりませんのでご注意ください